

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 26 日 (2009.3.26)

【公開番号】特開 2007-234555 (P2007-234555A)

【公開日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2007-035

【出願番号】特願 2006-58258 (P2006-58258)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

F 2 1 Y 105/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/26 Z

H 0 5 B 33/14 Z

F 2 1 S 1/00 E

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

F 2 1 Y 105:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 6 日 (2009.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一層の発光層を有する発光ユニットが、第 1 の電極と第 2 の電極の間に複数個直列に接続され、該直列接続している一の発光ユニットと他の発光ユニットとの間に中間導電層が設けられた発光セルを複数有し、

一の発光セルの第 1 の電極および他の発光セルの第 2 の電極と接触する第 3 の電極とを有することを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

少なくとも一層の発光層を有する発光ユニットが、第 1 の電極と第 2 の電極の間に複数個直列に接続され、該直列接続している一の発光ユニットと他の発光ユニットとの間に中間導電層が設けられた発光セルを複数有し、

前記発光ユニット、前記中間導電層、及び第 2 の電極を貫通する開口部と、

一の発光セルの第 2 の電極上及び前記開口部の側面を被覆して、一の発光セルの第 1 の電極を露出させる層間絶縁層と、

前記層間絶縁層上に形成され、前記開口部を介して前記一の発光セルの第 1 の電極および他の発光セルの第 2 の電極と接触する第 3 の電極とを有することを特徴とする照明装置

。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、前記第 1 の電極は透明導電膜からなり、第 2 の電極および第 3 の電極は金属膜からなることを特徴とする照明装置。